

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	河川改良事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 <input type="text"/> 不明 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと		終期	<input type="text"/>
(小項目)		河川・海岸			
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備			
基本事業	1	河川整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市が管理する排水路						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	排水路を改良することにより、ヘドロ等の堆積を減らすとともに、台風などによる洪水時における浸水被害を解消するなど、生活環境を向上させる。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	南浜排水路改良工事 L=10m 2,000千円 辻岩水尾川河川改良工事 L=20m 1,700千円 立岩排水路改良工事 L=30m 1,200千円 高島大水尾川河川改良工事 L=10m 2,000千円 徳長排水路改良工事 L=10m 1,200千円 三ツ石地区排水路改良工事 L=10m 1,200千円 高島南地区排水路改良工事 L=25m 1,000千円 島田川河川改良工事 L=10m 2,200千円						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		累計施工延長	2,400	2,495	2,605	2,715	2,825	m

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	優先順位をつけて、効率的な事業の進捗を図っている。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 改善延長区間(当年度)	116	232	134	134	134	m
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	累計施工延長	2,436	2,668	-	-	-	m
	目標達成率(実績/目標)		106.9	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	9,900	0	1,100	11,000
		補正予算額	0	0	2,800	0	400	3,200
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	12,700	0	1,500	14,200
		決算額	0	0	12,700	0	1,472	14,172
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.5	0.0		3,661		17,833	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	10,999	14,172	13,000	13,000	13,000
	うち一般財源	1,199	1,472	1,300	13,000	13,000
	人件費	7,234	3,661	3,661	3,661	3,661
	総事業費	18,233	17,833	16,661	16,661	16,661

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		予定していた工事は概ね完了した。
	効率性	A:効率的だった		検査により所定の機能を確保した。
②成果に対する評価	指標名	累計施工延長		予定していた工事は概ね完了した。
	目標	2,495	m	
	実績	2,668	m	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		順調に予定された工事が完了している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内には未整備水路(普通河川)が多く市街化が進み、生活雑排水の流入による生活環境悪化と排水能力の低下が進み、周辺住民からの整備要望が強い。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	南浜排水路改良工事 L=7.5m 1,700千円 島田川河川改良工事 L=10m 2,000千円 立岩排水路改良工事 L=45m 1,500千円 高島大水尾川河川改良工事 L=10m 1,500千円 徳長排水路改良工事 L=10m 1,600千円 粟田排水路改良工事 L=10m 1,700千円 三ツ石地区排水路改良工事 L=45m 1,500千円 三ツ石護岸改良工事 L=20m 1,500千円			
	R2年度	河川の定期的な調査や市民からの要望を勘案し、優先順位を設定し適切な維持・改良を行っていく。			